

活動テーマ

「鳩山大豆」の栽培・加工・広報による「元気創造」プロジェクト

鳩山町高野倉地区 大東文化大学

1 活動目的

鳩山大豆ブランドの復活に向けて、学生と地元の高齢者の方々と力を合わせることで、地域の高齢者と学生のそれぞれが「元気」を与え合うことを目指したい。学生の地域への貢献の場であると同時に、学生の「社会人基礎力」を鍛え、足腰の強い人材に成長させるための「農業インターンシップ」の機会としても活用したい。

2 活動地域の現状

10年前の鳩山町は、1996年からの7年間で栽培面積を50倍にした県内有数の産地として教科書に紹介され、幾多の加工品（焼酎、羊かん、鳩豆うどんなど）の開発や「鳩バス・枝豆狩り」などの観光イベントにもぎやかであった。しかし、近年は、高野倉地区の農業者の高齢化も進み、作付面積も減少化の傾向にある。

3 活動内容

2017年度は、次年度（最終年度）を睨み、4つの施策に重点的に取り組んだ。

- ①「枝豆収穫体験」のビジネスモデルの提示。2015～2016年度は「小学生のための枝豆収穫体験」を開催したが、2017年度は、10月下旬に、町民を対象にした大規模な枝豆収穫体験を企画した。
- ② 枝豆の加工品開発・販売。大豆を使ったパンやジュースの開発に取り組んだ。
- ③「MHK枝豆ネット」の構築。山梨県身延町及び宮城県角田市との「枝豆ネット」に向けた協議をスタートさせる。日本一の枝豆「曙」の産地である山梨県の身延町、そして「づんだ」の本場東北は宮城県角田市の枝豆。二つの著名な地域との連携により、鳩山大豆の全国的な知名度を上げていきたいと考えている。
- ④地域の人々と学生の取組を地域に広め「まちの話題」にするための広報活動である。学部のホームページに活動のようすを掲載すると同時に、鳩山町の広報誌や学内での広報活動を活発に行なっていく。「ふるさと支援隊」への学生の関心をたかめると同時に、鳩山町や近隣の自治体の高齢者にも「高齢者にもできる大豆栽培」について知らせることによって、高齢者（アクティブ・シニア）の大豆栽培への参加を促し、延いては作付面積の拡大に結びつけることを目指す。



大学生x大豆で鳩山に“元氣”を

町と包括連携協定を締結している女子栄養大学と、特産品販売施設「鳩豆工房 旬の花」を運営する「美味の会」がコラボし、鳩豆うどんの夏季限定メニュー「汁なしたまごうどん」を完成させました。新メニューは、台湾まぜそばをモチーフに、トマト、おくら、モロヘイヤなどの夏野菜と、ピリ辛に仕上げた豚のひき肉が乗った一品。卒業した同大の渡部桃子さんが、「鳩山産の夏野菜たっぷり、まぜて食べる新感覚の鳩豆うどんは、スタミナもつので、夏にぴったりです」と話す一品は、7月8日から「旬の花」で販売中です。(税込み800円)

大東文化大学

ふるさと支援隊

大東文化大学は、ふるさと支援隊として、7月1日に高野倉地区内の園地(はじょう)で、今年度で3年目を迎えました。

同大学国際関係学部の研究室「大豆のアジア学」の学生が、高野倉の花ノ木賞農組合の方々から指導を受け、順に3種類の大豆をまきました。今年度は、両年小学生を対象に行ってきた「枝豆収穫体験」を町民にも拡大し、町民参加の枝豆収穫体験の事業モデルを提示する予定です。

「大豆栽培へ」

「鳩豆うどん 新メニュー」

4 成果

- ①枝豆収穫体験のビジネスモデルの提示。2017年度に予定していた町民向けの枝豆収穫体験事業は台風により中止となった。しかし、2年にわたる小学生のための枝豆収穫体験や山梨県身延町での先進地視察の成果、高齢者に負担の軽い栽培方法の試行の成果をふまえて「枝豆収穫体験」モデルの概要を提示することができた。詳細は『地域資源活用 食品加工総覧』（追録13号）を参照のこと

(http://www.daito.ac.jp/education/international_relations/news/details_21598.html)。

- ②「えだまめ入りチーズパン」を山崎製パンとのコラボで開発し、10万個以上を販売した。また、2016年度に開発した「飲むえだまめ」が農文協の『現代農業』に紹介され、飲料製造業者とのコラボにも着手した。



5 課題

- ①民間企業との加工品開発において、地元が提供できる大豆量に限界がある。栽培面積を大幅に増やす必要がある。
- ②「曙大豆」で有名な山梨県身延町との交流は進んでいるので、今後は、鳩山大豆のブランド化のために自治体間の連携事業に向けた取組みが必要である。「MHK枝豆ネット」のうち宮城県角田市との連携事業は未着手である。
- ③ふるさと支援隊への学生の参加を促すための施策を検討する必要がある。

6 次年度以降の計画

高齢者にできる負担の軽い栽培方法と「枝豆収穫体験」モデルを町民（とりわけ高齢者）に普及させるための事業に取り組みたい。事業に関心を示す高齢者への支援も積極的に行いたい。

「枝豆入りチーズパン」「飲む枝豆」に次ぐ新しい加工品の開発に着手し「大学はおいしい」プロジェクトにチャレンジしたい。



以上